

副資材

使用用途	プライマー					
	溶剤系プライマー		水性プライマー			
製品名	3M™ プライマー		3M™ 水性プライマー			
品番	EC-1368NT	DP-900N3	WP-137M	WP-2000	WP-3000	
容量(サイズ)	1ℓ / 18ℓ		1ℓ	2ℓ	4ℓ	
	120mℓ					
製品仕様・特長	種類	合成ゴム系	合成樹脂系	合成樹脂系	合成ゴム系	合成樹脂系
	塗布基材・特長	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください	ケイ酸カルシウム板・石こうボード専用水性プライマー ※短時間で接着力が高くなります。	小口、端部専用水性強力(※)プライマー
	使用法	溶剤で2～3倍希釈	原液のまま使用	下地により、原液から3倍希釈の間で使用	水で4倍に希釈	原液もしくは水で2倍に希釈
	参考塗布量	10～15㎡/ℓ (希釈後)	15～30㎡/ℓ (吸い込みのない下地の場合)	15～30㎡/ℓ (希釈後)	15～30㎡/ℓ (希釈後)	1.2㎡/缶 (希釈後)
	色	黄褐色	淡黄色透明	青色	青白色	乳白色
	固形分	約25%	約12%	約37%	約48%	約40%
	粘度	200mPa・s	4.5mPa・s	300～1200mPa・s (23℃)	2400mPa・s	500mPa・s
	有効期間	未開封の状態 貼付ラベル使用可能期限まで	未開封の状態ご購入後 1年以内	未開封の状態ご購入後 6ヶ月以内	未開封の状態ご購入後 1年以内	未開封の状態ご購入後 1年以内
	F☆☆☆☆ 認定番号	MFN-1828	JAIA-011050	JAIA-009690	JAIA-004046	JAIA-005218

プライマー処理	3M™ ダイノック™ フィルム 貼り付け作業	3M™ ダイノック™ フィルム Dボード工法 取り付け作業	3M™ ダイノック™ フィルム 清掃・剥離作業	
マスキングテープ	スキージー	両面テープ	清掃・剥離作業	
スコッチ® シーリング・マスキングテープ	3M™ スキージー	3M™ ポリエチレンフォームテープ	3M™ クリーナー20	3M™ クリーナー30
79H	PA1-WHITE、PA-4、PA-5	MIX-313	CLEANER20	CLEANER30
15mm×18m / 18mm×18m	下記参照	20mm×15m	330mℓ	330mℓ
青色平面紙にアクリル系粘着剤を塗布した片面粘着テープ。プライマー塗布時に、不要な部分への塗布を防ぐためにマスキングします。 ・厚さ / 0.09mm ・引張強さ / 34.0N/cm ・伸び / 7% ・接着力 (180度方向) 1.2N/cm ・特長 ○強度に優れた基材を使用しているため、テープ剥離時になめ切れにくい。 ○直線性に優れた基材を使用しているため、真っ直ぐに貼りやすい。 ○基材は腰がありしっかりとしているが、手切れ性にも優れている。	ダイノック™ フィルムを貼り付ける際に最適な圧着用具。やわらかい布などを巻きつければ、繊細な表面性のシリーズの貼り付け作業等でもご使用いただけます。 プラスチック製。  サイズ ・PA1-WHITE: 73mm×103mm ・PA-4: 75mm×104mm (台形) ・PA-5: 72mm×150mm (広幅)	ポリエチレンフォーム基材の両面にアクリル系粘着剤を塗布した両面粘着テープ。 クッション性のある汎用テープとして、Dボード工法の1次接着剤として優れた接着力を発揮します。  ・主成分 基材/ポリエチレンフォーム 粘着剤/アクリル系 ・厚さ / 1.10mm ・引張強さ/接着力 (対ステンレス板) / 31N/cm ・単軸引張接着力 (対ステンレス板) / 41N/cm ・特長 ○冬場の低温時でも安定した貼り付けが可能です。 ○手切れ性が良く作業成功率が向上します。	ダイノック™ フィルムを傷めずに汚れをおとすエアゾール式のクリーナーです。主成分は天然の柑橘油で、石油系溶剤は含んでいません。フィルム表面の清掃には使用しないでください。使用後に錆を発生させる心配はなく、簡単に水洗いできます。柑橘系の香りさわやかな使用感です。  ・主成分 / イソプロピルアルコール ・色 / 透明	すぐれた浸透力で様々な汚れを溶解する洗浄力の高いクリーナーです。主成分は天然の柑橘油で、石油系溶剤は含んでいません。フィルム表面の清掃には使用しないでください。使用後に錆を発生させる心配はなく、簡単に水洗いできます。柑橘系の香りさわやかな使用感です。  ・主成分 / 柑橘油 ・色 / 透明

3M™ 化粧パネル用ボンドB-25は2021年6月で廃盤になりました。副資材をご要望の方は、お問い合わせください。

貼り付け基材別下地調整

各種下地基材(横列)に対して、縦列の手順に従って下地処理を行ってください。

不燃下地	石こうボード ケイ酸カルシウム板	モルタル	焼付塗装鋼板 電気亜鉛めっき鋼板	アルミニウム*2 ステンレス	ガラス	一般下地	シナベニヤ ラワンベニヤ	MDF
前処理	釘頭処理	金コテ仕上げ 乾燥状態確認(注)	サビ、異物の除去	サビ、異物の除去		釘頭処理	釘頭処理	釘頭処理
パテ処理 (注2)	粉体パテ ※3 エマルジョンパテ ※4	粉体パテ ※3 エマルジョンパテ ※4	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5		シーラー処理 (注1)	水性シーラー ※1 溶剤系シーラー ※2	水性シーラー ※1 溶剤系シーラー ※2
表面処理	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)		パテ処理 (注2)	粉体パテ ※3 エマルジョンパテ ※4	ポリエステル系パテ ※5
表面清掃	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	表面処理	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー
プライマー処理 (注3)(注7) 塗布部分	WP-137M WP-2000 EC-1368NT DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	WP-137M *1 EC-1368NT DP-900N3 端部	WP-137M EC-1368NT 端部		表面清掃	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー	水・中性洗剤 アルコール ラッカーシンナー
注意事項	WP-137M、DP-900N3はAM、HG、VMシリーズ(VM-MTを除く)を施工する際には不燃認定に適合しません。法規上、不燃が要求されない箇所では使用可能です。	モルタル打設後、3週間以上乾燥させてください。	右記(注4)(注5)参照。 *1 WP-137M は焼付塗装鋼板には適しません。	DP-900N3を使用した場合、接着不良を起こす場合があります。 *2 アルミニウムは不燃にならない場合があります。	右記(注6)参照。	プライマー処理 (注3)(注7) 塗布部分	WP-137M WP-2000 EC-1368NT DP-900N3 全面	WP-137M WP-2000 EC-1368NT DP-900N3 全面
						注意事項	油分を十分にふき取ってください	必ずシーラーを塗布してください。 プライマー塗布後、小口も十分に乾燥させてください。

下記他社製の副資材については各社の最新情報をご確認ください。

- 水系シーラー
  - ※1 マイティシーラーマルチ(大日本塗料)
  - ※2 マイティシーラーS(大日本塗料)
- パテ
  - ※3 タイガージョイントセメント(吉野石膏)
  - ※4 WD/パテ仕上げ用(中央ペイント)
  - ※5 ポリエステル系パテ 極120(ソラー) NEOX 中間パテ120(関西ペイント)

- 注1 シーラーは下地基材の吸い込み調整と、下地基材からのアクやアルカリを止める働きがあります。
- 注2 パテは、下地基材のつなぎ部分やへこみを埋める際に使用します。パテ使用后、サンドペーパーなどで平滑に仕上げます。
- 注3 プライマーは下地基材との接着性向上のために使用します。特にDP-900N3は下地基材からのアルカリや可塑剤の影響を止める効果があります。  
プライマーの乾燥時間は、EC-1368NT・DP-900N3・WP-137Mは30分以上、WP-2000・WP-3000は2時間以上です。ただし、冬季(10℃前後)にWP-137Mを使用する場合は1時間以上、DP-900N3を使用する場合は3時間程度必要です。WP-137M、DP-900N3を使用して、AMシリーズ、VMシリーズ(VM-MTを除く)、HGシリーズを不燃材料(金属板を除く)に施工する場合は、国土交通省防火認定番号(NM-3108、3137)に適合しません。EC-1368NTもしくはWP-2000をご使用ください。
- 注4 塗装下地に貼る場合は、塗装と下地との密着性を確認してからフィルムを貼り付けてください。塗装の密着性が十分でない、施工後にフィルムが浮いたり剥れたりする恐れがあります。プライマーはDP-900N3もしくはEC-1368NTを使用する場合は3時間程度必要です。ただし、冬場にWP-137Mを使用する場合は1時間以上、DP-900N3を使用する場合は3時間程度必要です。WP-137M、DP-900N3を使用して、AMシリーズ、VMシリーズ(VM-MTを除く)、HGシリーズを不燃材料(金属板を除く)に施工する場合は、国土交通省防火認定番号(NM-3108、3137)に適合しません。EC-1368NTもしくはWP-2000をご使用ください。
- 注5 鋼板に錆止め塗装をする場合、JIS規格に適合するものをご使用ください。
- 注6 ガラスへの施工時の注意事項  
ガラスに貼る場合は汚れを除去してから直接貼り付けてください。直射日光が当たる場合は、ガラスが熱割れを起こす恐れがありますので、ご注意ください。  
日射が当たる外壁ガラス室内側への施工は、紫外線により粘着剤が劣化するため、お勧めしません。  
屋外のガラスに貼り付ける場合は、雨水や結露など水分の影響を受けない部位に施工してください。浴室内のガラス等、水分の影響を受ける部位への施工はお勧めいたしません。水分の影響により、フィルムが剥がれてくる恐れがあります。光が透過する環境ではフィルム製造時のムラが見える場合があります。糊着面にある空気抜き溝が見える場合があります。裏面に印字されているPVCマークが見える場合があります。
- 注7 小口、端部にWP-3000を使用する場合、次の下地基材で使用可能です。  
石こうボード、ケイ酸カルシウム板、電気亜鉛めっき鋼板、シナベニヤ、ラワンベニヤ、MDF、ポリエステル板